

稲沢市地域再エネ導入戦略（素案）パブリックコメントについて

- 1 募集期間 令和5年2月13日（月）～令和5年3月14日（火）
- 2 意見提出者数 3人
- 3 意見件数 10件
- 4 提出された意見の要旨と市の考え方

（意見は、文意等を損なわないように要約・補足等をさせていただきます。）

No.	市民から寄せられた意見	市の考え方
1	<p>再エネ導入と併せどのように活用するかが重要。稲沢というエリア全体で再エネを有効活用、マネタイズする仕組みを検討する体制が必要と考えます。</p> <p>他の自治体では新電力等の体制を整えて、再エネ導入の拡大を検討させています。稲沢市は市役所が取りまとめるのでしょうか？具体的なプランが見えないのでご教示いただきたいです。</p>	<p>今回の戦略は、本市が目指すべき「ゼロカーボンシティの姿」と、そこに至るための道筋や取組の方向性等を定めるものです。</p> <p>エリア全体での再エネの有効活用、マネタイズ、新電力設立の検討等、具体的なプランについては、来年度、策定予定の稲沢市地球温暖化対策実行計画〈区域施策編〉の中で検討していく予定です。</p>
2	<p>他の自治体の例ですが、レジ袋を市のごみ袋とすることにより、今までごみに含まれていたレジ袋分の二酸化炭素排出量を減らせる。スーパーにヒアリングすることで、減らせる量の試算も可能。</p>	<p>レジ袋を稲沢市の指定ごみ袋にしますと、たとえば、この袋を使って、市外在住の方が市外の集積場所にごみを出す可能性もあることなど問題、課題も多く、慎重に検討する必要があると考えます。</p>
3	<p>ソーラーパネルを市が仲介する。最近よくソーラーの営業が来ますが、信用がないため、興味があるけど取り入れない家庭もあると思います。</p>	<p>個々の業者については、斡旋になりますので仲介はできませんが、太陽光発電等再生可能エネルギーの導入促進に向け、一層の普及・啓発に努めていきます。</p>
4	<p>再エネも大事ですが、エネルギーを再生するにも二酸化炭素を生じます。そのため、減らすことから取り組めばゼロカーボンシティに繋がると思います。</p>	<p>まずは温室効果ガスの排出を減らす取組が大切と考えます。</p> <p>本戦略においても、省エネや温室効果ガスの吸収にできる限り取り組むとともに、削減しきれない排出量について、再エネの最大限導入を進めていきます。</p>

5	<p>P21 2030年度（中間目標年度）46%削減</p> <p>2030年度までに公共施設のZEB化推進は可能なのか。どのような施設でZEBを導入するのか。</p>	<p>原則、今後新設される公共施設について、国の基準に沿って、順次可能な限り設置していく予定です。</p>
6	<p>P21 2030年度（中間目標年度）46%削減</p> <p>環境センターの発電電力を公共施設等で活用できるようになるのか。現在、環境センターの広域化を検討しているが、無駄な投資にならないか。</p>	<p>環境センターの発電電力は、すでに現在も同センター内の電力として利活用し、余った分を売電しています。この売電分の有効活用については、様々な可能性があり、今後検討していく予定です。</p> <p>また、環境センターの広域化について、今後の検討内容を踏まえた活用方法を考えていく予定です。</p>
7	<p>P29・30 3010運動</p> <p>コロナ禍で会食等の機会が少なくなり、3010運動を耳にする機会も減った。アフターコロナも近づきつつあるため、改めて啓発に努めてはどうか。</p>	<p>食品ロスの削減は本戦略の重要な取組の一つですので、3010運動についても改めて普及・啓発に努めていきます。</p>
8	<p>P31・32 ノーマイカーデー</p> <p>公共交通機関を利用促進するために、ノーマイカーデーに取り組む自治体は既にある。稲沢市も速やかに導入すべきではないか。</p>	<p>事業者、市の具体的な取組としてノーマイカーデーをあげており、導入の実施方法について、今後検討していく予定です。</p>
9	<p>P34 ナッジを利用した行動変容</p> <p>自治体事例を参考に稲沢市においても導入検討していただきたい。</p>	<p>他市の事例を、より詳細に調査・研究し、導入に向けた検討をしていく予定です。</p>
10	<p>全体</p> <p>専門的な言葉などがコラム欄で分かりやすく説明されている。とてもよい。</p>	<p>今後も普及・啓発を進める中で、より分かりやすい説明に努めていきます。</p>